



SAKAIGI JHS

境木中学校学校だより 2020th

令和3年3月12日



特別号

横浜市立境木中学校
校長 岡本 実浩

〒244-0802 横浜市戸塚区平戸 3-48-2 TEL 045-822-8626 Fax 045-826-3826

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/sakaigi/>

《学校教育目標》 社会とつながり、主体的に学び続け、未来を作る力を育みます。

令和2年度 第53回 卒業証書授与式

晴れ渡る3月11日、卒業証書授与式を無事に実施することができました。緊急事態宣言の適用が延長された中、体育館で卒業生が適切な距離を保てる座席を設定するには、来賓や保護者の皆様、在校生の参列を断念せざるを得ない状況でした。しかしながら、体育館を思う存分、卒業生の式場として使うことのできた式でもありました。今回、卒業生の保護者の皆様には、教室に入っただけ、体育館の卒業式をライブ配信で視聴していただく形をとりました。新しい形の卒業式に挑戦することができたのも、多くの方のご理解とご協力のおかげと感謝しております。制限のある中の卒業式ではありましたが、生徒の想いがあふれる温かい式となりました。代表生徒が交わした境木中学校での思い出の数々を生徒の言葉を通してお届けいたします。



送辞

肌を震わす冷たい風もいつしか和らぎ、暖かな春が近づいて参りました。本日、晴れて旅立ちの日を迎えられた3年生の皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生を代表し、心よりお祝い申し上げます。

先輩方は今、3年間を仲間と共に過ごした様々な出来事を鮮明に思い出されていることと思います。私たちの心には感謝とお祝いの気持ちとともに、先輩方と過ごした数々の日々が浮かんでいきます。

思い起こせば、先輩方は本校の最上級生として、いかなる時でも様々な面で私たちの手本となり、優しくリードしてくださいました。

部活動では、うまくやっていけるだろうかと不安だった私たちに礼儀や作法を一つひとつ熱心に教えてくださり、一生懸命取り組む楽しさや厳しさを教えていただきました。先輩方の部活動に励む姿は、私たちの目標であり、憧れでした。今、私たちが後輩にたくさんのことを教えられるのも、先輩方から教えていただいたおかげです。

委員会活動や生徒会活動では、学校全体のために努力を惜しまない熱意に驚かされました。特に、自動販売機設置に向けた活動では、先輩方の頼もしさを改めて感じました。中心となって活動を引っ張ってくださった生徒会や委員長の皆さんのリーダーシップ、どんなに忙しくても笑顔で仕事をこなしている姿は、どれも輝いて見えました。私たちが先輩方のように笑顔を絶やさず、これからの境木中学校のために全力を尽くしていきたいです。

先輩方は数多くの手本を示してくださいました。どんな時でも私たちに正しい方向に導いてくださいました。先輩方と過ごした2年間は、何にも代え難い思い出となり、忘れられません。本当にありがとうございました。

そして今日、先輩方がこの境木中学校を旅立っていきます。

教わりたいこと、学びたいことは、まだまだ沢山あります。しかし、来年度からは先輩方の意志を受け継いで、私たちが学校を引っ張っていく立場になります。先輩方が去ってしまうのは、悲しく、不安で一杯なのですが、先輩方の築いてこられた本校の伝統を、私たちがしっかりと受け継ぎます。そして、先輩方が誇れる学校にしていけるように頑張ります。



これからの人生を歩いていく中では、困難な場面に遭遇することがあるかもしれません。そんな時は、境木中学校で過ごした日々を思い出し、一歩ずつ、力強く踏み出されることと信じています。在校生一同、卒業生の皆さんを、この境木中学校から応援しています。

卒業されます先輩方の、より一層のご活躍とご健康をお祈りし、送辞とさせていただきます。

令和3年 3月 11日

在校生代表 西 珠生

答辞

桜の蕾もふくらみ始め、春の訪れを感じられるようになりました。

本日は、私達のためにこのような素晴らしい式を開いてくださり、本当にありがとうございます。3年前の春、大きな制服に身を包み、これから始まる新しい日々に期待と不安を胸に抱きながら入学式を迎えたのを今でも鮮明に覚えています。3年間という中学校生活は、瞬く間に過ぎてしまいました。その一瞬の中には、私たちだけのかけがえのない思い出が詰まっています。

1年生の西湖自然教室では、新しい仲間と共に樹海ウォーク、ほうとう作り、キャンプファイヤーなどを体験することで、仲間との絆を深める機会とすることが出来ました。2年生の東京校外学習では、慣れない土地で班の仲間と協力し合って一日を過ごしました。途中、班員同士はぐれてしまったり、予定とは違った行動をとったりしてしまいましたが、班のリーダーが中心となって臨機応変に対応したことで、問題が解決し、仲間と協力することの大切さを学びました。こうして、私達は、社会に出た時に必要なことを仲間と共に体験することで成長してきたのです。

そして迎えた2020年。最上級生になる私達は、様々な経験や学びを活かして後輩達の手本となり、境木中学校を引っ張っていく・・・そんな未来を想像していました。しかし、新型コロナウイルスの影響によって、予定されていた行事や部活動の大会は次々に中止になっていきました。それどころか、約3か月間、登校することさえできなくなってしまったのです。自粛期間中には、これからの生活がどうなってしまおうのかという不安を抱いていた人も多かったのではないかと思います。私もその一人でした。しかし、今となってはあの日々があったからこそ、それまで「当たり前」だと思っていたことのひとつひとつが、実は大切だったのだと気付くことが出来たと思っています。教室で普通にみんなと授業を受けること、お昼の時間に楽しく会話をしながらご飯を食べること、クラスで協力して行事を盛り上げること、そして何より直接会って相手の顔を見て話すこと・・・どれも、この状況にならなければ、その「大切さ」に気付けなかったものたちです。そう思うと、私達は、義務教育最後の1年間を、これまでのどの先輩方よりも、一日一日を大切に噛みしめながら過ごせたのではないかと思います。

こうした数多くの困難を乗り越えることが出来たのは、多くの方々の支えがあったからです。

3年間、私達に寄り添い、時に優しく時に厳しく指導してくださった先生方。勉強以外にも普通の生活のことや、仲間を大切にすること、日々の努力の大切さなど、人として成長出来ることをたくさん教えていただきました。ご迷惑をかけたことも多かったですが、困った時は手をさしのべ、私達を支えてくださったことは絶対に忘れません。これからは、先生方に教えていただいたことを胸に未来へ歩んでいきます。本当にありがとうございました。

そして、15年間一番近くで見守ってくれた家族。部活や勉強が思うようにいかず、衝突してしまった日々もありました。本当にごめんなさい。困っている時も辛い時も今までずっとそばで支えてくれてありがとう。これからもたくさん迷惑をかけることになると思いますが、よろしく願います。私達も自分の夢を叶えるために精一杯頑張ります。

また、登下校時に私達の安全を守ったり、お祭り等の地域の行事でお世話になったりした地域の方々にも、この場をお借りして感謝をお伝えしたいと思います。

今日、私達は、境木中学校で過ごした思い出とたくさんの人たちへの感謝を胸に卒業します。先生方の楽しい授業を受けることも、共に過ごした仲間とふざけ合ったり、たわいのない会話で笑い合ったりすることも、もう出来ません。これから先、私達は、一人ひとり別々の道を歩み始めます。新たな生活には、不安もありますが、境木中学校での様々な経験が、きっと私達を支えてくれると信じています。

それでは、これから先、私達157名が境木中学校で過ごした日々を胸に、未来に向けて歩いていくことを誓い、答辞とさせていただきます。

令和3年 3月 11日

(第53回) 卒業生代表 芳賀 彩加里

